

化学委員会・物理学委員会合同結晶学分科会（第 23 期・第 1 回）、化学委員会 IUCr 分科会（第 23 期・第 1 回）合同分科会議事録（案）

日時：平成 26 年 12 月 26 日 15 時 30 分～16 時 30 分

場所：日本学術会議 6 階会議室

出席者：阿久津典子、上村みどり、栗原和枝、黒田玲子、小林昭子、今野美智子、菅原正、菅原洋子、高田昌樹、高原淳、藤井保彦、村上洋一、山縣ゆり子

議 題

1) 委員紹介

高原委員より資料 1 に基づき本分科会所属委員の紹介があり、出席委員の自己紹介が行われた。

2) 役員選出

以下の役員が選出され、承認された。

IUCr 分科会

委員長 高田昌樹

幹事 菅原洋子、栗原和枝

結晶学分科会

委員長 高原淳

副委員長 村上洋一

幹事 上村みどり

3) 前期の活動報告

高原委員（第 22 期結晶学分科会委員長・IUCr 分科会委員）より、資料 2, 3 に基づき結晶学分科会および IUCr 分科会の第 22 期の活動報告が行われた。第 22 期においては大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープランに係わる提案についてプロモーションを行ったこと、世界結晶年にかかわる活動を行ったことが報告された。

主要活動の 1 つであった世界結晶年 (IYCr2014) については、高田委員より 2014 年になされた活動の総括報告が行われた。また、藤井委員より、日本中性子科学会が世界結晶年にあたり一般向けの広報として作成した冊子「中性子とそれに見せられた仲間達—N 氏の新たな冒険」についての紹介がなされ、高校教員、文科省、経団連に配布したことが報告された。

4) 今期の活動方針

- i) 高原結晶学分科会委員長より、今期も大型施設計画に留意した活動を行っていくことが提案され、了承された。
- ii) 栗原 IUCr 分科会委員より、森 勇介連携委員を IUCr 分科会の追加メンバーとすることが提案され承認された。

iii) 今後のスケジュールについて、会議の効率と連携強化のため、結晶学分科会と IUCr 分科会は合同で分科会を開催する事とした。

5) その他

阿久津結晶学分科会委員より、結晶学分科会に対し、2016 年に名古屋において開催される国際結晶成長学会への協力要請があった。